

足立区議会議長 工藤哲也様

足立区議会議員 28番 かねだ 正印

一般質問通告書

今定例会に下記要旨の一般質問を行いたいので、会議規則第59条第2項の規定により質問通告書を提出します。

記

行政区分	質問の要旨
<p>1 都市建設行政</p>	<p>1 西新井大師周辺と西新井駅を中心としたまちづくりについて</p> <p>(1) 補助第253号線と西新井大師のまちづくりについて</p> <p>西新井地域で中核となる西新井駅、西新井大師周辺地域の発展のためには、課題を一つひとつ解決して着実に前進することが重要である。そのなかで、都市計画道路補助第253号線の整備について、当該路線は昭和41年に都市計画決定がなされ、平成20年に整備に向けた測量を行ったが、それ以降は遅々として整備がなされていない。</p> <p>また、直近の中期財政計画においては令和3年度から用地買収などの予算が示されているが、当該計画の今後の見直しでは先延ばしされるのではないかと懸念している。</p> <p>補助第253号線の整備により、西新井大師周辺の道路状況は大きく改善し、地域の活性化に寄与すると考える。以前にも一日も早く整備すべきと議会一般質問をさせて頂いた。その際区は、中期財政計画で事業優先度を考慮しながら進めていくとしていたが、平成25年の質問から10年近くが経過するが、一向に進んでいる様子がない。</p> <p>その間、足立区最大の観光資源である西新井大師は、昔から続くお店等が閉店してしまい、以前の様な活力を失いつつある。補助第253号線を開通させ、回遊性の確保、新たなまちづくりをしていく必要がある。そこで、西新井大師周辺のまちづくりを含めて何点か伺う。</p> <p>① 西新井大師の認知度を高め、観光客を増やすためには、補助第253号線の整備が欠かせないと思う。平成25年第3回定例会で、補助第253号線の未整備路線の事業化について質問をした。その際、平成30年度以降の事業認可取得に向けて最大限努力していくとの答弁があったが、現在の状況はどうか。</p>
	<p>9月13日 午前・午後 9時45分受付 質問時間 25分</p>

行政区分

質問の要旨

- ② 50年近く前に計画されており、すでに用地測量まで終了している状況である。地権者の方々の状況、近隣住民の方々の事を考えると一日も早い事業着工が望まれる。改めて補助第253号線の早期実現を図るべきと考えるがどうか。
- ③ 西新井大師の参拝客には、その名称からも、日暮里・舎人ライナーの西新井大師西駅から向かおうとする方も多いと思う。その中には高齢の方も多く含まれているため、様々なアクセス方法を確保する必要があると思うが、どのように整備しようと考えているのか。
- ④ 環七から北側の西新井大師一带は、足立区景観計画では特別景観形成地区に指定されており、西新井大師を活かした景観形成の誘導が行われていると思うが、特に門前周辺は西新井大師の入口であり、景観上の配慮が必要と考えられる。現在の門前周辺の状況を区はどう捉えているか。
- ⑤ 西新井大師周辺の景観への配慮のため、助成制度などを創設して景観誘導の支援を行なっていくべきと考えるがどうか。
- ⑥ 現在、旧青少年センター跡地に新たな複合施設を建設しているが、この施設は景観上の配慮はされているのか。また、西新井大師周辺の賑いの向上に寄与する施設となっているのか。
- ⑦ 川越は、城下町としての風情を残しつつ新しさも取り入れ、幅広い層から支持されている。観光客のリピーターも多く街全体が活気に満ち溢れている。区が全面的に協力して、この様なまちづくりを西新井大師周辺でも実施してはどうか。
- ⑧ 区制90周年を記念して区内周遊イベントを実施するとのことであるが、そのエリアとして西新井地区で開催する見込みはあるのか。また、その際、観光資源として西新井大師を活用し区内外から参加者を集め、西新井大師の認知度を高めてほしいと思うがいかがか。
- ⑨ 西新井大師では1月の初大師に始まり、節分祭、だるま供養、花まつり、牡丹園や風鈴祭り、よさこい祭りや盆踊りと、四季を通じて様々なイベントを実施してきた。区の観光についても大きく貢献してきたと思うが、現在コロナ禍で中止となり、区民の楽しみもかなり減

行政区分

質問の要旨

ってきたのではと推察する。そこで、これからの西新井地区の地域経済活性化のためにも、イベントが開催できるようになったら、地域と連携して西新井地区を盛り上げるよう支援を強化してもらいたいが、区の見解はいかがか。

⑩ 西新井大師周辺のまちづくりは、西新井大師周辺まちづくり協議会を中心に地域住民の方々の意見を伺ってきた。現在コロナ禍ということもあり、実施されている様子はないが、実施する時には、更にパワーアップした組織にする為にも専門家等の参加を試みてはどうか。

(2) 西新井駅西口周辺地区の発展について

西新井・梅島エリアデザイン計画のうち、西新井駅周辺については「西口交通広場の整備」「駅へのアクセス向上」「計画的な建替えの誘導」などが掲げられている。一方、トスカ西館が閉鎖され、駅前の賑いが一層なくなることを危惧している。

また、西新井大師周辺の商店は軒並み閉店か業種転換され、かつての賑いが薄れつつある。

このような状況において東武鉄道による施設再整備、区による交通広場整備には残念ながら相当の時間を要するため、その間は既存の資源を活用して街の活力低下を防ぐ必要がある。そこで何点か伺う。

① 西新井駅を起点に、アリオ西新井や西新井大師を徒歩や東武大師線を活用し、回遊性を持たせる取り組みとして、東武鉄道や商業事業者、商店街等と区が連携してはどうか。

特に東武鉄道は鉄道事業者として大師線の利用者増につながると考える。また、東武鉄道はトスカ跡地の再開発のカギを握っており、一層の協力を求めてはどうか。

② 西口仮設階段が9月下旬に供用開始されると聞いているが、階段周辺には相当の空地が確保されると思う。この空間に暫定利用として朝市やキッチンカーなど人が集まるイベントを定期的を開催することは考えられないか。

③ 西口駅施設は解体されたが、新しい施設についてはなんら計画が示されていない。トスカ西館等、東武鉄道の開発に関する区との協議に関して何か進捗はあったのか。

行政区分

質問の要旨

2 学校運営行政

2 子ども達の教育環境の充実について

(1) コミュニティ・スクールの導入について

人事に関する意見表明権を有し、委員に責任の一端を持って頂くために報酬を供与するコミュニティ・スクールは、まさに地域の方々とともに学校運営を実施していくことが出来る意義のある取組みである。コミュニティ・スクールの仕組みとして、国の法改正により平成29年度以降、学校運営協議会の設置が教育委員会の努力義務となっている。

また、文部科学省は令和4年3月に「コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議」の最終まとめを公表した。この中では「関係者の十分な理解と相互の信頼関係の中で、教育長のリーダーシップの下、教育委員会が主体的に・計画的にすべての学校へのコミュニティ・スクールの導入を加速」という在り方が示されている。

以上のように、国はコミュニティ・スクールの導入を推進しようとしている。足立区には開かれた学校づくり協議会が早々に設置されていることも一因としてあり、コミュニティ・スクールの設置が進まない現状もある。そこで伺う。

① 現在のコミュニティ・スクールの導入状況はどうか。また、未導入校の検討状況はどうか。区は率先して導入を各学校に進めているのか。

② コミュニティ・スクールの導入が進んでいないとしたら、その原因は何にあると区は考えているのか。

③ 区は、開かれた学校づくり協議会型コミュニティ・スクールという、少しあいまいな形を示している。しかし、コミュニティ・スクールと開かれた学校づくり協議会は明らかにその目的も形態・権限も別組織である。区は現在の開かれた学校づくり協議会で充分との認識か。

行政区分

質問の要旨

④ 文科省の方針（導入を加速）を尊重していくのであれば、区として今後コミュニティ・スクールの導入をどのように促進していく考えか、具体的に示してほしい。また、更に導入していくのであれば、具体的な目標年次、目標学校数はどう考えているのか。

（２）放課後子ども教室と生涯学習振興公社について

放課後子ども教室は現在、すべての小学校で実施されており、その運営支援は生涯学習振興公社が担っている。私が放課後子ども教室実行委員を経験した感想からも、きめ細やかな対応により、放課後子ども教室スタッフとの連携もスムーズであると考えている。これは、公社職員の方々の努力の結果であり、心から敬意を表したいと思う。

しかし、公社は固有職員を新規には採用しておらず、年々職員減になっており、その運営と今後の活動が心配されるものである。そこで伺う。

① 放課後子ども教室の現在の運営について、また、放課後子ども教室の今後の役割について、区はどのように捉えているのか。

② 公社運営のあり方（基本方針）を読むと、平成13年に教育委員会としては、公社の固有職員の補充や採用拡大については当面の間見送るとある。これはどういった考え、理由に基づくものなのか。

③ 公社職員総数の減少が、放課後子ども教室の安定的な運営に影響を及ぼすことが懸念される。この点を含め、様々な課題についてどのように対応していくのか。

④ 生涯学習振興公社第二次中期事業計画では、「公社の在り方については、令和10年度までの方向性が区から示されていますが、本計画期間中に再度、区・教育委員会と協議を進めていきます」とあるが、最終的には公社の存続も選択肢の一つとして考えているのか。

⑤ 存続を視野に入れているのであれば、公社の固有職員の退職不補充を今のうちから見直すことも考えていかなければならないと思うがどうか。

⑥ 生涯学習振興公社は、放課後子ども教室の運営支援も重要な役割の一つであるが、区民の方々の生涯学習の推進も重要な仕事である。

行政区分	質問の要旨
	<p style="text-align: center;">28番 かねだ 正</p> <p>これからの高齢化社会のなかでその重要性は益々高まっていくと思うが、区の見解はいかがか。</p>